平成２５年１１月１日発行
なのはな　第６２号

なのはな

ＮＰＯ法人　なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961　静岡市葵区北226-1
TEL/FAX　054-246-2213
E-Mail　：aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
ＵＲＬ　：http://www4.tokai.or.jp/nanohana/

日時　**2014** 年 **1** 月 **18** 日(土) **14:30～**　会場　**静岡市民文化会館　中ホール**

料金　こども(高校生まで) **3,900** 円／大人 **4,900** 円／親子ペア **8,000** 円

お申し込み　FAX：**054-246-2213**　MAIL：**nanohana_kouen@yahoo.co.jp**

代表者氏名・〒・住所・TEL・申し込み枚数（こども・おとな・ペア別）を記入し、FAX又はメールで申し込んでください。入金が確認でき次第、チケットを送付いたします（12月より）。直接あおぞらｷﾝﾀﾞｰｶﾞｰﾃﾞﾝで購入も出来ます。
※携帯メールからのお申込は、必ず当方からのメールを受信許可としていただけますよう（迷惑メールブロック等）お願い申し上げます。

振込先　ゆうちょ銀行　記号１２３５０　番号５０９２３９９１「森は生きている」上演実行委員会
店名　二三八（ニサンハチ）・店番　２３８　・口座番号　普通預金　５０９２３９９

平成２５年１１月１日発行
なのはな　第６２号

あおぞらだより

・・自然からのおくりもの・・

園が大事にしている運動会が、台風のため延期し、11月におこなうことになり、子ども達はうんどうかいを楽しみに待っています。

あおぞらの周りの暑い夏も、だんだん遠のき光や風の中に秋が溢れるようになりました。散歩コースの柿は、真っ赤に色を染めています。近所の方が「こどもたちに食べて欲しくて」と、どっさりキュウイフルーツを届けてくれました。とってもあまかった！
そして、草むらには虫が飛び交い、夜は虫の鳴き声の饗宴
卒園生が植えていったどんぐりの木には、かわいい実をつけ顔を覗かせてくれています・・・・。
日本の四季が崩れ始めている中にも、確実に自然の営みは、緩やかに流れている事を実感するこの頃。

この豊かな自然は、子どもの育ちにどんな影響をもっているのでしょうか。
一番大きな力は、
自然が、言葉を持っていない為、子どもの感性・感覚に働きかけてくることです。
これは、幼児期の感性・感覚期の教育のスタイルにピッタリの教材となるのですね。
そして自然は、目的外使用が可能な為に、想像性･創造性に満ち、子どもの頭をフル回転して夢中になる世界であり、子どもの意欲や自発性を引きだす宝庫であるのですね。

ここのところ高校生や20歳を過ぎた卒園生のお母さんたちと話すことが多いのですが、必ず話してくれるのは、「子ども達の中にあおぞらで育ててもらったねっこを感じる」ということと「お散歩や川遊びの自然の思い出の楽しさ」です。

昔よりずっと自然が少なくなっているこの頃ですが、これから未来を生きていく子ども達に豊かな自然を伝えたいなー、とんぼの舞う空を見ながら強く思うこの頃です。

おか

わとと・あおぞら

これ　読んで～

わとと･ガーデン（継続型一時保育）2 歳児、4 人の子どもたちはえほんが大好き。
「今日は何読もうか？」と声をかけると、「これがいい～」「これにする～」「きめたよー」
ひとり、ひとりが嬉しそうにえほんを持ってきます。
ある日、お弁当を食べ終え、さてさて何して遊ぼうかな？
「あっ、ぼくも見る～」
利用者Sちゃんママが　”おばけのてんぷら”のえほんを読んでいます。 これは子どもたちが大好きなえほん。Sちゃんママのまわりには次々に子どもたちが集まって･･「次はこれ読んで～」 ”かじだ、しゅつどう”「これも～」 ”ぴょーん” 5 人がじーっと見ています。 ･･･
「なんか、とっても緊張しちゃいました。こどもたちのまなざしがあまりにも真剣だったので。 わたしでよかったのかなぁ？」
「ありがとうございます。こどもたちはSちゃんママがよかったんです。」
「わたしも、なんだか幸せな気持ちです。」とママ。
えほんをあいだに温かなひととき。　　＜かよみ＞

城東子育て支援センター　あんと

いっしょ！！ってたのしいね・・・

10 月１６日に、センターまつりを中央・城東子育て支援センターがいっしょに、アトサキ７にて
実施予定が、台風の影響でやむを得ずできず、中央支援センターで行われました。
雨上がりでどのくらいのおやこがあそびにきてくれるかなあ～と心配でしたが、２７６人の参加があり、
大盛況でした。
“こんにちは。ここ出会うとは・・・”
“久しぶり、大きくなったねぇー”
“もう、歩くんだねぇ一人の子って早いよー”　という声もいっぱいの中、製作遊びでへび・ぱくぱくからす・
かんむり・飛び出すうさちゃんを、おしゃべりしながら作るおやこでいっぱいでした。
先生たちと紙芝居・ペープサート・歌もうたって、あっという間にランチタイム・・・
おすすめのお弁当（マルジュウ）・コロッケバーガー（大石精肉店）・パン（ベンチタイム）・
クッキーや、やきそばなど（ラ・ポシェット）さんも協力してくださりありがたか

まほろばの部屋から

「ごめんね」に気持ちをこめて・・・？

息子を保育園にお迎えに行ったとき，息子と友達が向かい合って話をしていました。

ちょっと深刻そうなんで，少し後ろで聞き耳を立てていました。息子はどちらかというと詰め寄られているような状況。

ともだち「なんで，ボールぶつけたの」

息子「ごめんね」

ともだち「そうじゃなくて，なんでってきいてるの」

息子「ごめんね・・・」

というようなやりとり。

担任の先生が間に入ったところ，息子がボールを転がしたところに友達が横切ったらしく，ボールがあたってしまったらしいのです。

「？」わたしは，「なんで，わざとじゃないことを言わないんだ？」と考えてしまいました。

最近，ちょっと注意をすると「まちがえちゃった」とか，何かといえば「ごめんね」という息子を気にかけていたこともあり，「怒られないようにしているのかな」と思ったりしていました。どうも，自分の気持ちや思いを伝えることがどんどん苦手になっているような気がするのです。6歳という年齢もあるのかもしれませんが。。。

お友達とのやりとりなどは，どういう集団生活を送っているのか，大人がどのようにかかわっているのかということによって大きく違うということをものすごく感じています。　（あきこ）

あおぞらキンダーガーデン創立２０周年記念事業

おっきな子育て井戸端会議

‘子どもを中心にした保育’を大切にするあおぞらキンダーガーデンは創立２０周年を迎えました。
皆様への御礼と感謝として、今回は保護者代表の皆様と岡村園長で、子育てについてのパネルディスカッション『おっきな子育て井戸端会議』を開催することといたしました。
あおぞらキンダーガーデンのおはなしや、子育てについて語り合う中で、子育てのヒントを見つけたり、また、懐かしさもちょっぴり感じていただければと願っています。
子育て真っ最中の方、これから子育てを迎える方、はたまた子育てを懐かしみたい方、たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

コーディネーター　森　勇治（とうちゃん会会長）

パネラー　磯谷佐知子（卒園生保護者）

パネラー　神田和美　（卒園生保護者）

パネラー　岡村由紀子　（あおぞらキンダーガーデン園長、平島幼稚園園長）

平成２５年１２月１４日（土）１４：００～１６：３０（１３：３０受付開始）

会場　城東保健福祉エリア　保健福祉複合棟３階　第１・第２研修室（100 名）

静岡市葵区城東町２４番１号　（ＴＥＬ０５４－２４９－３１８０）
バス（しずてつジャストライン）・「安東循環線（中町回り）」城東保健福祉エリアバス停前
・「安東循環線（水落町回り）」城東保健福祉エリア入口バス停下車徒歩３分

◆参　加　費　　５００円　（＊当日受付にて申し受けます）